

AMAKURU RWANDA

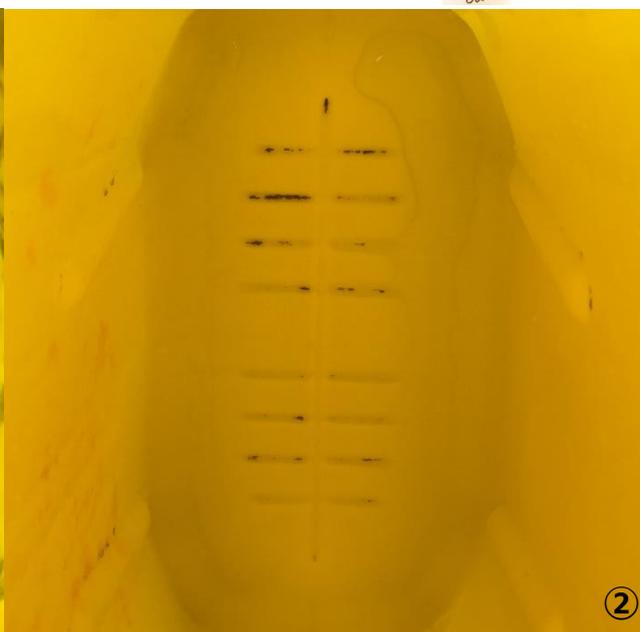
青年海外協力隊 2017 年度 4 次隊
ルワンダ・コミュニティ開発(水の防衛隊)



野田 恵莉



①



②

Muraho! (こんにちは！)
東アフリカ、ルワンダから
ニュースレターをお届けします。

TODAY'S TOPIC

- わたしの活動
「ジェリカン内部をきれいにする方法とは？」
- 任地の暮らし
「ルワンダの西、キブ湖での過ごし方」



ジェリカン内部をきれいにする方法とは？

住民が手に入れられるものを使って何とか、ジェリカン（水保管容器）をきれいにしたい。まずは自分のジェリカンを洗浄することから始めました。

はじめに、任地の一般的な洗浄方法でトライ。材料は、Kateye（ランタナ）、石けん、水、メッシュの端切れを使用し、シェイクします。また、物理的に汚れを落とすために砂利を使う方法もありますが、ジェリカン内部を傷つけてしまい、菌の繁殖の原因となるので今回は不採用。結果、一般的な方法では頑固な汚れは落ちず、軽度の汚れ向きであることがわかりました。次に、歯ブラシに針金を括り付けてブラッシングに挑戦。しかしジェリカンの口はかなり狭く、汚れに手が届きませんでした。また、次亜塩素も試しましたが、連敗。

最後に試したのは、重曹と塩。同量の重曹と塩、水、Kateye（写真①の植物）を入れてジェリカンシェイクします。そのあとは一般的な方法と同様、石けん、水、メッシュの端切れで洗浄します。結果、土汚れ、緑色のヘドロをきれいさっぱり落とすことに成功しました！

（写真①：洗浄前、写真②：洗浄後）



ルワンダの西、キブ湖での過ごし方

青い空、青い湖が広がり、涼しげな水音が響く、キブ湖。今回は、ルワンダとコンゴ共和国の国境が引かれる西部県のキブ湖への旅について紹介します。

私の任地から首都キガリ経由で約8時間バスに揺られると、目的地のキブ湖があるカロンギ郡に到着します。西部に面するキブ湖はアフリカ大陸でトップ10に入るほど大きな湖で、ルワンダ人も休暇に訪れるリゾート地。小高い丘が多く、年間を通して雨が降り、比較的肌寒いのが特徴です。

さて、キブ湖に来たらまずは、「サンバサ」！サンバサとは、ワカサギに似た小魚のことです。ここでは、サンバサ魚が行われており、内陸国に暮らしていると恋しくなる新鮮な魚が食べられるのです。さっそく、市場にてサンバサを購入すると、バナナの皮で魚を包んでくれました。そして、友人宅にて唐揚げに。やわらかく淡泊な味、絶品です！

また、湖沿いでは「ボートトリップ」も楽しめます。今回は、ボートに乗り、キブ湖に浮かぶピースアイランドを散策しました。湖面では、心地よい風、水の音とにおいを感じながら、向こう岸のコンゴ共和国を眺めることができます。

この旅で、赤茶色の大地、牛とバナナ畑といった任地の景色とは異なるルワンダをまた1つ発見できました。

次回もお楽しみに。Murabeho~！（またね！）

